



## ニュースレター 2020年6月 (号外)

発行：小倉バプテスト教会  
牧師：山本龍一郎  
編集：嶋田涼美(責任者) 山本佐智子  
大庭博子 島 由美(当月担当)  
TEL：093-521-2862  
Email：kokuracc@yahoo.co.jp  
HP：kokuracc.com

## ☆6月の聖書

《創世記9章11節、ヨエル記2章23節》

### \*\*\*メッセージ\*\*\*

しばらくお会いしないうちに、季節は変わってしまいました。皆さまお元気でしょうか。  
6月と言えば梅雨、今回のテーマを「雨」としました。聖書には雨が沢山出てきます。詩編、イザヤ書、エゼキエル書、ヨエル書等々、その殆どが雨によって地が潤い、草や木が豊かに育つ事を願う言葉が書かれています。イスラエルの人々は、雨は神様のなさる業だと信じていました。  
さて、聖書に出てくる雨の代表的なお話はノア物語でしょう。神様は人をお造りになった後「地上に人々が増え、悪がはびこってきたのをご覧になって心を痛められた」とあります。そしてノアに大きな箱舟を作ること、家族と生き物の全てをつがいだ箱舟の中に入れることをお命じになります。その後神様は40日40夜雨を降らせ、地上の全ての物をぬぐい去られます。雨は止み、やがて彼らは箱舟から出る事が出来ました。その時神様は虹をお送りになり、二度と洪水によって地上の生き物を滅ぼさないと約束をなさいました。  
新型コロナウイルスのせいで、世界中に不安が広がっています。私たちは叡智を持ってこの危機を乗り越えたいと思います。神様は、ノアに約束されたように、今この世界を取り戻すことが出来るよう、導いてくださると信じています。  
❖この機会に、次の2さつの本を手にとってみてください。  
「ノアの箱舟」「洪水のあとで—ノアたちのその後」  
アーサー・ガイサート作 小塩節/小塩トシ子訳 (こぐま社) 令子先生より

### ★★★★8月の予告★★★★

テーマ:平和と戦争

◎8月 12日(水) 1時半より

大人の集まり

◎8月 22日(土) 12時より

親子の集まり

\*参加費: 1人100円 (BOXランチ付)

2020年6月のがらがらどんは、新型コロナウイルス感染状況の中、引き続き中止になりました。  
雨の日には、こんな絵本を読んで過ごしては？

## □6月のテーマ「雨」□

## 今月の絵本



「あめがふるとき ちょうちよはどこへ」  
文:M・ゲアリック  
絵:L・ワイスガード  
訳:岡部うた子(金の星社)  
もぐらやみつばち、小鳥は雨がふるとき、どこに行くの？そしてちょうちよはどこに行くの？  
雨のとき、ちょうちよをさがしてみようと思う、少女のおはなし。



「おじさんのかさ」  
作・絵:佐野洋子(講談社)  
おじさんは、りっぱなかさをもっていました。でもぬれるのがいやでさそうとしません。ある雨の日、男の子の歌につられて、かさを広げてみたら……。  
雨の日がたのしくなる絵本です。



「あまがさ」  
作:やしま・たろう(福音館書店)  
3さいのモモは、たんじょうびにあかいながぐつと、あまがさをもらいました。でも、雨がふらないのです。ある日雨がふって、かさの上でできたこともないふしぎな音楽がくぼんぽろ ぽんぽろ……)



これは雨の話ではないのですが「ドアがあいて……」  
作:エルンスト・ユンゲル 絵:ノルマン・ユンゲル  
訳:斉藤 洋(ほるぷ出版)  
しいんとしている待合室。ドアがあいて、順番に入っていく。次はぼくのぼんだ。「こんにちは先生」



### 折り紙を楽しもう♥

手先と頭を動かして、折り紙で色んなものを作ってみよう。楽しいよ。このカラカサは、ちょっとむずかしいかな?(佐智子さんより)